平成23年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月9日

上場会社名　株式会社 ハンズマン　　上場取引所　大
コード番号　7636　URL　http://www.handsman.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大薗 誠司
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 小田 清謙　TEL 0986-38-0847
四半期報告書提出予定日　平成23年2月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第2四半期の業績(平成22年7月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	12,010	13.2	146	47.1	441	28.1	219	18.5
22年6月期第2四半期	10,608	2.5	99	—	345	39.7	185	35.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第2四半期	42.76	—
22年6月期第2四半期	36.10	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第2四半期	17,298	6,758	39.1	1,316.46
22年6月期	15,819	6,378	40.3	1,242.48

(参考) 自己資本　23年6月期第2四半期 6,758百万円　22年6月期 6,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	27.00	27.00
23年6月期	—	0.00			
23年6月期(予想)			—	27.00	27.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年6月期の業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,303	13.6	542	35.6	1,121	28.3	613	26.5	119.54

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年6月期2Q	5,136,600株	22年6月期	5,136,600株
② 期末自己株式数	23年6月期2Q	2,991株	22年6月期	2,937株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年6月期2Q	5,133,640株	22年6月期2Q	5,133,663株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.　当四半期の業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 業績予想に関する定性的情報 …… 3
2.　その他の情報 …… 4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
3.　四半期財務諸表 …… 5
(1) 四半期貸借対照表 …… 5
(2) 四半期損益計算書 …… 6
【第２四半期累計期間】 …… 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

1.　当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間における小売業を取り巻く環境は、企業の収益改善傾向を受けて個人消費に一部持ち直しの動きが見られたものの雇用情勢や所得水準は依然として低迷し、景気の本格的な回復には至っておりません。

このような環境の中、当社は前事業年度に引き続きお客様の要望される商品の導入・拡充を行うための店舗改装を推進し、これまでより一層お客様のお役に立てる品揃えを実現してまいりました。

また、当社の「お客様の声をもとにした20万品目（１店舗あたり）の品揃え」や「楽しく見やすい売場づくり」等がマスコミで紹介されたこともあり、特に福岡・大分・熊本地区において知名度が向上し、初めてご来店されるお客様が増えたことに加えその後リピーターとして店舗へ何度もご来店頂けるお客様が増えてまいりました。

その結果、既存店での来店客数は前年同期比107.8％と大幅に増加し、客単価も前年同期比100.1％と堅調に推移したことから既存店売上高は前年同期比107.8％の114億4千1百万円となりました。

また、平成22年10月には当社10号店目となる「くさみ店」（福岡県北九州市小倉南区）を新規オープンさせておりますが、こちらの店舗も開店後順調な業績で推移してきたことから、全店における営業成績は来店客数が前年同期比113.2％、客単価が前年同期比100.0％となり、全店売上高は前年同期比113.2％の120億1千万円となりました。

利益は、新規店舗（くさみ店）のオープン準備に伴う費用が約1億7千万円発生しましたが、既存店および新規店舗の売上向上による売上総利益額の向上がこれを吸収し、営業利益が1億4千6百万円（前年同期比147.1％）、経常利益が4億4千1百万円（前年同期比128.1％）となっております。なお、第１四半期会計期間から資産除去債務に関する会計基準を適用しており、特別損失にその影響額として6千2百万円を計上しておりますが四半期純利益は前年同期比118.5％の2億1千9百万円となりました。

（注）当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヶ月未満の店舗を新店と定義しており、当第2四半期累計期間においてはくさみ店を除く９店舗が既存店となります。

部門別の業績は次のとおりであります。　（単位：百万円）

部　門　別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減額	前　年 同期比
	金　額	構成比	金　額	構成比		
ＤＩＹ用品 ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	5,347	50.4 %	5,966	49.7 %	618	111.6 %
家庭用品 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気資材用品、収納用品、住宅設備用品	3,570	33.7 %	4,200	35.0 %	630	117.7 %
カー・レジャー用品 カー用品、アウトドア用品、ペット、生体、文具	1,690	15.9 %	1,844	15.3 %	153	109.1 %
合　　計	10,608	100.0 %	12,010	100.0 %	1,402	113.2 %

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債および純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ20億6千9百万円増加の172億9千8百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加と既存店の商品拡充・新店（くさみ店）の開店に伴う棚卸資産の増加により流動資産が10億8千3百万円増加したこと、さらにはくさみ店の店舗建物取得により有形固定資産が9億4千8百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ19億8千8百万円増加の105億4千万円となりました。これは主にくさみ店開店時の商品仕入代金および店舗建物取得費用等を短期借入金にて調達したことなどにより流動負債が21億9千8百万円の増加となり、一方長期借入金の返済が進み固定負債が2億9百万円の減少となったことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ8千万円増加の67億5千8百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ3億6千万円増加の8億1千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億9千9百万円（前年同期比74.4%）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が3億7千9百万円、減価償却費が2億7千万円、仕入債務増加額が5億7百万円となったのに対し、棚卸資産の増加額が5億8千1百万円、法人税等の支払額が2億8千1百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、10億2千万円（前年同期比175.2%）となりました。これは主にくさみ店の店舗建物取得により有形固定資産の取得による支出が10億3千8百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、12億7千2百万円（前年同期比265.5%）となりました。これは主に、くさみ店開店時の商品仕入代金および店舗建物取得費用を短期借入金（純増額で18億3千万円）で調達した一方、長期借入金の返済額が4億1千8百万円、配当金の支払額が1億3千8百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月10日公表の平成23年6月期業績予想を修正しております。詳細につきましては本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2.　その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（たな卸資産の評価方法）

当第２四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ4,884千円減少しており、税引前四半期純利益は67,595千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は211,736千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3.　四半期財務諸表

(1)【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成22年12月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	817,844	366,330
売掛金	251,457	186,513
たな卸資産	5,881,896	5,300,358
その他	218,634	233,051
流動資産合計	7,169,833	6,086,253
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,432,463	4,761,991
土地	1,786,593	1,786,593
その他（純額）	1,039,927	762,214
有形固定資産合計	8,258,984	7,310,799
無形固定資産	199,110	185,772
投資その他の資産		
敷金及び保証金	464,714	466,296
投資不動産（純額）	851,049	858,123
その他	370,564	337,315
貸倒引当金	△15,917	△15,917
投資その他の資産合計	1,670,410	1,645,817
固定資産合計	10,128,505	9,142,389
資産合計	17,298,339	15,228,643
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,767,381	1,259,800
短期借入金	4,775,800	2,942,600
未払法人税等	134,645	292,351
その他	510,400	495,259
流動負債合計	7,188,226	4,990,011
固定負債		
長期借入金	3,044,800	3,466,800
資産除去債務	213,854	－
その他	93,238	94,575
固定負債合計	3,351,892	3,561,375
負債合計	10,540,119	8,551,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057,500	1,057,500
資本剰余金	1,086,500	1,086,500
利益剰余金	4,615,468	4,534,539
自己株式	△4,671	△4,629
株主資本合計	6,754,797	6,673,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,423	3,346
評価・換算差額等合計	3,423	3,346
純資産合計	6,758,220	6,677,256
負債純資産合計	17,298,339	15,228,643

(2) 四半期損益計算書

【第２四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 (自　平成21年７月１日 至　平成21年12月31日)	当第２四半期累計期間 (自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日)
売上高	10,608,692	12,010,874
売上原価	7,620,456	8,603,256
売上総利益	2,988,235	3,407,618
販売費及び一般管理費	2,888,578	3,261,057
営業利益	99,657	146,561
営業外収益		
受取利息	130	133
受取配当金	398	495
早期決済奨励金	202,751	234,600
受取手数料	88,757	76,335
投資不動産賃貸料	27,268	50,134
その他	6,559	3,066
営業外収益合計	325,865	364,766
営業外費用		
支払利息	55,777	48,228
投資不動産賃貸費用	24,219	19,210
その他	506	2,014
営業外費用合計	80,504	69,453
経常利益	345,018	441,873
特別損失		
固定資産除却損	832	－
固定資産売却損	15,541	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	62,711
特別損失合計	16,373	62,711
税引前四半期純利益	328,644	379,162
法人税、住民税及び事業税	69,056	123,909
法人税等調整額	74,269	35,715
法人税等合計	143,325	159,624
四半期純利益	185,319	219,537

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成21年７月１日 至　平成21年12月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	328,644	379,162
減価償却費	264,609	270,442
受取利息及び受取配当金	△528	△629
支払利息	55,777	48,228
早期決済奨励金	△202,751	△234,600
投資不動産賃貸料	△27,268	△50,134
投資不動産賃貸費用	24,219	19,210
固定資産除却損	832	－
固定資産売却損益（△は益）	15,541	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	62,711
売上債権の増減額（△は増加）	3,207	△64,943
たな卸資産の増減額（△は増加）	△444,844	△581,538
仕入債務の増減額（△は減少）	378,518	507,580
未払消費税等の増減額（△は減少）	△25,131	△33,315
その他	△17,197	△14,629
小計	353,629	307,544
利息及び配当金の受取額	528	629
利息の支払額	△56,271	△48,553
早期決済奨励金の受取額	193,031	221,303
法人税等の支払額	△222,719	△281,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	268,199	199,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△368,442	△1,038,025
投資不動産の取得による支出	△325,837	－
投資不動産の賃貸による収入	31,709	52,274
投資不動産の賃貸に伴う支出	△21,514	△10,865
敷金及び保証金の回収による収入	31,325	1,582
その他	70,074	△25,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△582,684	△1,020,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	200,000	1,830,000
長期借入れによる収入	700,000	－
長期借入金の返済による支出	△292,200	△418,800
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△418	△424
自己株式の取得による支出	－	△41
配当金の支払額	△128,100	△138,282
財務活動によるキャッシュ・フロー	479,280	1,272,451
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	164,795	451,513
現金及び現金同等物の期首残高	480,825	360,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	645,620	811,744

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。